



ウィルビーイング共創サミット 参加



9月17日(火)、名古屋学院大学名古屋キャンパスにて、一般社団法人社会的健康戦略研究所様と IKIGAI WORKS 株式会社様によりウィルビーイング共創サミットが開催されました。ウィルビーイング(Well-Being)とは「単に病気ではないということではなく、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であること」を指しています。

健康経営優良法人プライト 500 認定をされている企業が多数招待され、弊社から辻社長、柳瀬常務取締役、総務部山田次長の3名が参加いたしました。



健康経営をはじめとする「人を幸せにする経営」は、人的資本経営やウィルビーイング経営とも言われています。この取り組みを行う地域企業を広く知つてもらうために創設されました。役職や世代などを超えたコミュニティーのイベントということで、次世代を担う名古屋大学院生や龍谷大学生（京都）も参加されました。

健康経営を推進していくなかなか伝わらない現実に直面しておりますが、各企業様の活動講演では、様々な試案を重ね、着実に活動を進めている状況を目の当たりにしました。どの企業様も共通しておられるのは、コミュニケーションがとれる場の提供でした。若手が集まって資格の勉強場を社内に設けたり、自家製野菜を使ったおにぎりを作ったりと様々でした。学生さんからは「働き甲斐」「福利厚生」に着目した質問が多くあり、自分の大切にしていることが芯にあり、また、それを実現できる働き方や企業の検索をしっかりしていました。私たちの発信力がこれからを担う世代の目に留まることが重要になっていきます。健康経営×次世代の求人×SNSの構造をしっかりと理解して各活動を進めていきます。

総務部 次長 山田真理子



日本ローカルネットワーク実務者活性化委員会 参加



9月7日(土)、TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口にて、日本ローカルネットワーク東海北陸地域本部実務者活性化委員会が開催され、弊社からは10名が参加いたしました。

第1部では、三福運輸株式会社代表取締役五月女様を講師としてお招きし、「すぐに役立つビジネスマナー講座」と題し講話を頂きました。第2部では、グループディスカッション形式で各社の問題点などを話し合いました。



五月女様の講和にて、「笑顔・挨拶・身だしなみ」などの見た目が第一印象に多くの影響を与えており、お客様にとって従業員さん一人一人の印象が会社のイメージになるという話が印象に残っています。弊社としては活力朝礼による挨拶やふるまい方が乗務員さんまで浸透しているため、顧客訪問の際には第一印象で良い評価を頂いております。それを継続するためにも、報連相できる環境を作つて乗務員さんとのコミュニケーションを笑顔で出来るようにしていきます。そして、これからも「ひまわり便」のブランドが向上していくよう、自ら体現し、皆さんの手本となるよう行動していきます。

浜松営業所 次長 山田善治



緊急物資輸送対応に関する意見交換会 参加

9月30日(月)、中部トラック総合研修センター(みよし市)にて一般社団法人愛知県トラック協会様主催で愛知県防災局災害対策課の方々も参加され、能登半島地震 緊急物資輸送対応に関する意見交換会が開催されました。当時の対応状況や見えてきた課題・要望・改善点などに対しての意見交換を目的としており、弊社からは執行役員本社輸送部・本社倉庫部春日統括部長と本社輸送部野澤さんが参加いたしました。



初めて参加し緊張もありましたが、実際に体験した災害時の物資輸送について、配車指示と現場の対応が違ったこと、夜の灯りがない状態での運転についてなど、様々な課題を伝えることが出来ました。みなさん真剣に受け取って下さり改善案など話し合いが進みました。10月8日には豊橋市総合体育館で防災訓練がありました。訓練の内容は様々な箇所で開かれる意見交換会で変わっていくことです。普段から県や市、会社が連携することで緊急時もスムーズに連携がとれると感じました。まだまだ知らないことが多いため、早く一人前になって貢献していきたいです。 本社輸送部 野澤和樹

運行管理者試験 合格

令和6年8月6日(火)・27日(火)にて、令和6年度第1回運行管理者試験が行われました。安全運行に必要なドライバーの勤務時間を法令に基づいて設定し、運行管理のための指揮命令系統を作り上げるなど、安全体制の確立で中心的役割を果たすのが運行管理者です。

弊社からは経営企画室高橋室長、豊川営業所中村主任、管理部Aさんの3名が受験し、47都道府県の受験者数24,993人中、合格者8,224人、合格率32.9%の中で全員が見事に合格いたしました。



試験には始めから合格するつもりで取り組んできましたが、合格が分かった時には何とも言えない嬉しさがありました。社内で受験を公言しているだけでなく、ヤマネット研修での個人課題目標に「運行管理者試験の合格」を掲げていたので、無事に合格することが出来て本当に安心しています。なかなか理解できない出題科目や、問題の選択肢が長文であることに苦しみましたが、問題集などを中心に2回、3回と繰り返し学習することで出題される傾向が分かるようになりました。

運行管理者試験で学んだ法令などは、運送業務を行う上では必要不可欠な知識であり、毎年のように法改正がされています。そのため、一度学んで終わりではなく逐次、知識のメンテナンスを行っていく必要があります。怠ることなく勉強を続け、日々の業務でドライバーさんにより良いアドバイスができるように努めています。

経営企画室 室長 高橋秀一郎



合格発表当日はすっかり忘れていて加藤所長から合格の知らせを聞き、事務所の皆さんからもお祝いの言葉をもらいました。やっと合格できたのでとても嬉しくて、家族にすぐ報告しました。

きっかけは特になく、必要な資格だと思って受験を志しました。学生の頃から勉強がすごく苦手で、真剣に勉強に取り組むことが自分にとって一番難しかったです。しかし、繰り返し臨む度に勉強のやり方が固まり、自分が配車をやり始めてから経験したこと也有って合格できました。

これからは運行管理者として守るべきことをきちんと守り、乗務員さん達の生活を助けていくことが自分の使命だとして業務に取り組んでいきます。自分自身がしっかりしていなければ伝える言葉も軽くなってしまうので、自分に厳しく皆に思いやりを持った配車係を目指して精進していきます。 豊川営業所 主任 中村純也



入社して間もなく、「試験日はいつにするか」という話が挙がっており、あっという間に合格前提の日程が組まれていました。そのため、絶対に落ちるわけにはいかないと受験が決まった日からこつこつと勉強に取り組みました。また、根を詰めすぎないように、適度に息抜きをするようにしました。試験当日では、正直うまくいった手ごたえがなかったので受からなかつたことを考えると恐ろしく感じましたが、無事に合格していたので本当に嬉しいです。

試験に合格して終わりではなく、11月の講習を受けることで運行管理者として選任できるようになります。講習を受け終われば、これまでよりドライバーの皆様の力になれます。今からその日が待ち遠しいです。

管理部 A. T

フォークリフト講習会 実施



10月5日(土)、フォークリフト安全講習会が本社にて行われました。講師として、住友ナコフォークリフト販売株式会社様より豊橋営業所所長金井様、南川様にお越しいただき、本社乗務員5名が参加いたしました。この講習会では、実技を主としてトラックへの積み込み・積み下ろしにおける基本の確認をすることを目的としています。

絶対に事故を起こさないという覚悟や、自信と基本通りの操作が無ければ事故は防げないという言葉が印象に残っています。そして、常に危険があるかもしれないという予測も大切だと勉強になりました。リフトを操作する際には、特に左右後方をよく確認し、基本に基づいた動きを心掛けたいです。

Nさん

パレットに表記されているサイズと自分が操作するリフトの爪の長さをきちんと把握することで、爪を根元まで刺しても荷物側に出ないかどうかが分かるということが勉強になりました。リフトはバック走行が多くなるので、しっかりと後方を確認してリフト事故をしないように努めます。

Kさん

本社 応接室・玄関 模様替え

8月30日(金)、本社2階応接室の模様替えが行われました。机と椅子を変更したことにより、全員が向かい合って着席することが出来るようになり、お客様の表情が見えやすく商談がより行いやすくなりました。また、新たにモニターが設置されたため、利便性向上に繋がっています。



Before



After

9月5日(木)、本社玄関の模様替えが行われました。木製カウンターとラックが新たに設置され、広々とした空間に生まれ変わりました。また、パーテーションのサイズを大きくし、爽やかな緑色へ変更いたしました。布地が使用されているため周囲の騒音が吸収されるようになり、お客様との商談が行いやすくなりました。

これからも元気な挨拶と明るい笑顔で、お客様をお出迎えして参ります。



Before



After



Before



After

本社 2階 トイレ改修工事 実施

共用トイレ増設



男子トイレ改修



正面左側より男女共用、女性用、男性用となっています。現在は扉の窓に色付けされておりますが、後日トイレマークも併せて設置されます。

活力朝礼見学 ご来社

9月25日(水)、トヨタネ株式会社様より取締役 業務部・施設部・栽培支援部執行役員兼栽培支援部部長三浦様、業務部部長千賀様、生産部豊橋ナーセリ一課課長磯部様の3名がご来社されました。

社内だけだとどうしても気持ちが内向きになってしまうので、元気になれるといいなと思い、本日はマイシンさんの元気な姿を見学させていただきました。引き続きよろしくお願ひいたします。
三浦様(写真左側)

皆が同じ気持ちになって朝礼に取り組み、確認すべきところはしっかりと確認するという姿勢は非常に参考になりました。私たちもできるところからこのような

取り組みを進めていきたいです。千賀様(写真中央)

今日は貴重な機会を頂き、ありがとうございました。本当に圧倒されるぐらい元気で、私たちももっと活力ある職場にしていきたいと感化されました。
磯部様(写真右側)



新入社員紹介



運送業界は久しぶりになりますが、初心の気持ちで一から知識や技術を習得していきます。よろしくお願いします。

浜松営業所 Y. K

突撃!マイシン社員インタビュー

No.38



名前：A. Tさん
血液型：AB型
所属：管理部
(入社1年目)

好きなもの：興味が湧いたもの
座右の銘：口は災いのもと
尊敬している人：妹(世渡り上手)
自分を動物に例えると：猫(気まぐれ、気分屋)

苦手なもの：虫全般

趣味やマイブーム、好きな芸能人(アーティスト)

PCゲーム(特にオンラインゲーム)

夢中になったきっかけ

学生の頃、携帯ゲーム機を持ち寄って遊んでいた友人たちを見て、「私もやりたい！」と思い、その日のうちにゲーム機一式を買いに行ったのが始まりです。インターネットの進歩と共にゲーム機を持ち寄って遊ぶスタイルから、オンラインで仲間と集まって遊ぶというスタイルに変わってきました。

趣味やマイブームが絡んで起こったエピソード

ゲーム内で知り合った顔も知らない友人達とオフ会を開いた際、特に仲の良かった方が自分の母より年上の女性であったことが印象に残っています。当時のゲームは文字入力(チャット)でのコミュニケーションが主流だったので、文面での口調から勝手に同じ年ぐらいの男性だろうと思っており、初めてお会いした時にとても驚いたことを覚えています。

身の回りや過ごし方への変化

自作PCを組み立てることが趣味の一つになりました。当時PCゲームを動かすためには、家電量販店で取り扱っていない性能の高いPCが必要で、自分でパーツを選んで一からPCを組み上げていました。予算を下げるためにスペックを落とすか、高額なパーツで性能を上げるなど構成を考えている間はとても楽しいです。

趣味やマイブームについて熱く語ってください

ゲームに限った話ではありませんが、娯楽の殆どが商業であり、ファンが応援し、お金をかけないとすぐに廃れてなくなってしまいます。今の趣味でも、ある日突然推すことができなくなるかもしれません。そうなったときに後悔をしないよう「推しや趣味は推せるときに推す」ことは非常に大切だと思います。